

平成 25 年度難病コミュニケーション支援研修会開催要領

1. 目 的

ALS 等の重症神経難病により、意思の疎通が困難となる患者にとってコミュニケーション支援は重要である。

療養者の様々なコミュニケーション支援ニーズに対応していくためには、作業療法士等リハビリ専門職の協力が不可欠である。毎年基礎知識や意思伝達装置等の研修会を開催しているが、以前から目指していた全県的なネットワークの確立には至っていない。

そこで、コミュニケーション支援に対応できるアドバイザーを中心に事例検討を行い、それぞれの事例が今後全県的なコミュニケーション支援ネットワークの利用に繋がることを目的に今年度は研修を行う。

2. 主 催

公益財団法人ヘルスサイエンスセンター島根

3. 対象者

難病患者のコミュニケーション確立に関わっている県内の作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、訪問看護師、ヘルパー、保健師等
(各圏域難病患者 2 事例程度)

4. 講師(アドバイザー)

高鳥クリニック	作業療法士	飯塚 智香 氏
松江医療センター	作業療法士	加藤 伸一 氏
島根大学医学部附属病院	作業療法士	森脇 繁登 氏

5. 日時と研修場所

平成 26 年 2 月 22 日 (土) 13:00~16:00 ヘルスサイエンスセンター島根(別紙参照)

6. 内 容

- ①当日は参加者が 1 事例ずつ紹介し、アドバイザーからの意見を聴きながら全体で検討していく。(2 時間~2 時間 30 分)
- ②今後事例検討を通して全県的なコミュニケーション支援ネットワークにつなぐ方法や希望する研修内容について検討する。(1 時間~30 分程度)

7. 事前準備

- ・参加者は別添の情報提供書に記入し、2 月 10 日(月)までにしまね難病相談支援センターに FAX 又は郵送で送る。
動画等の情報を提供する場合は、しまね難病相談支援センター担当者に連絡する。
- ・しまね難病相談支援センター担当者は受け取った情報をすぐに各アドバイザーに送る。